

7/1より「第15回全国小学生『未来』をつくるコンクール」を開催 ～自由研究・作文を募集 昨年は全国から3万7千以上の作品応募～

株式会社ベネッセホールディングスの子会社である株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、以下：ベネッセ）の社内シンクタンク ベネッセ教育総合研究所では、「進研ゼミ小学講座」他3者ととも、7月1日より「全国小学生『未来』をつくるコンクール」を開催いたします。

本コンクールは、子どもたちがこれまでの学習で身につけた考える力や判断力、表現力を活用し、夏休み期間に幅広い自由研究を通じて個性や創造力を発揮する機会として、2004年度から開催しているものです。毎年多数の作品応募があり、2017年度は37,160作品の応募がありました。2018年度は7月1日より「作文部門」「自由研究部門」「環境部門」「絵画部門」の4部門で募集を開始いたします。

ベネッセでは、1980年に事業を開始した通信教育講座「進研ゼミ小学講座」を通じて、子供たちが学校と家庭で自ら学びに向かう意欲と力をはぐくみ、一人ひとりの未来を広げる学習をさまざまな形で支援してまいりました。今後も引き続き、全国の小学生の学ぶ力を応援する取り組みを進めてまいります。

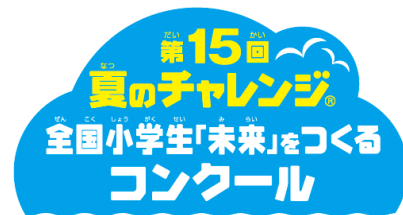
<「第15回 全国小学生『未来』をつくるコンクール」概要>

- 対象：全国の小学1年生～6年生 *絵画部門は1・2年生、環境部門は3～6年生のみ
- 募集期間：2018年7月1日（日）～9月15日（土）
- 募集テーマ：部門と学年別。詳細は次頁ご参照
- 問い合わせ先：「第15回 全国小学生『未来』をつくるコンクール」事務局

0120-92-5096（通話料無料9：00-21：00）

詳細はWEBサイトをご覧ください。

<http://www.benesse.co.jp/s/land/concour/>



- 賞品と参加賞：詳細は次頁ご参照
- 受賞者発表：ウェブサイトにて、2019年2月（予定）
- 主催・共催・後援：
 - <主催>ベネッセ教育総合研究所
 - <共催>進研ゼミ小学講座、ベネッセグリムスクール、アップ教育企画、ベネッセの学童クラブ
 - <後援>文部科学省、環境省、東京都教育委員会、全国小学校理科研究協議会、全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会、全国教育研究所連盟、一般社団法人環境教育振興協会、全国都道府県教育委員会連合会、公益社団法人日本PTA全国協議会、福井県立恐竜博物館

<2018 年度 各部門の募集テーマ>

作文部門	小 1・2	「ぼくが わたしが もしも まほうを つかえたら」
	小 3	「最近うれしかったこと」
	小 4	「きみが夢中になっていること」
	小 5	「これから挑戦したいこと」
	小 6	「きみの将来の夢について伝えよう！」
自由研究部門	小 1・2	「ぼくが わたしが 見つけた 生きものの かんさつカード」
	小 3・4	「きみの不思議調査」
	小 5・6	「きみの発見調査レポート」
環境部門	小 3	「発見！エコほうこく！」
	小 4～6	「きみのエコ活動報告」
絵画部門	小 1・2	「思いきり かこう、すきな ものを。」

<賞品・参加賞> ※ 各賞の受賞者数は小学 1～6 年生まで全学年を合わせたものです。

<p>◆大賞【各部門×各学年 1 名】 （作文 6 名、自由研究 6 名、絵画 2 名、環境 4 名）</p>
<p>New ニンテンドー2DS LL&AC アダプター（※ニンテンドー2DS は任天堂の商標です。）、オリジナルメダル</p>
<p>◆文部科学大臣賞【大賞の中から計 4 名】 （作文 1 名、自由研究 1 名、絵画 1 名、環境 1 名）</p>
<p>・表彰状</p>
<p>◆優秀賞【全部門共通 各部門×各学年最大 10 名】 （作文 60 名、自由研究 60 名、絵画 20 名、環境 40 名）</p>
<p>・オリジナル図書カード 1,000 円分</p>
<p>◆審査員特別賞【各部門 若干名】</p>
<p>・オリジナル図書カード 3,000 円分&オリジナルメダル</p>
<p>◆全国小学校理科研究協議会 会長賞【自由研究部門の中から 1 名】</p>
<p>・オリジナル図書カード 3,000 円分&オリジナルメダル</p>
<p>◆参加賞【全員】</p>
<p>・参加認定証</p>

ご参考

◆ 2017 年度「第 14 回全国小学生『未来』をつくるコンクール」(応募総数: 37,160 通)
受賞者はコンクールウェブサイト (<http://www.benesse.co.jp/s/land/concour/>)
で発表しています。

2017 年度受賞例 自由研究部門

6 年生 大賞

「足の装具作りと歩行実施検証」 鈴木琴葉さん (千葉県)

内容: 足首のけがをきっかけに、自分なりに装具をくり返し改良していった努力の研究です。装具を作る人の苦勞もわかり、人のためになる仕事の大切さを感じる作品です。



3 年生 大賞

「納豆ネバネバのばすよ、切るよ！」 林 あやねさん (茨城県)

内容: 納豆のねばりけについて7つもの実験を通じて、その原因を明らかにした作品です。実証的で科学的な素晴らしい研究です。

